

台湾から温かい支援が届く

新型コロナウイルス感染症対策にマスクと医療用防護服等の寄贈を受けました

台北駐日経済文化代表処をはじめとする、杉並区と交流のある台湾関連の4団体から、使い捨てマスクや医療用防護服等の寄贈を受けました。杉並区と台湾は、中学生の野球交流や東京高円寺阿波おどりの台湾公演などで交流を深めてきました。寄贈されたマスクは、新型コロナウイルスの感染症予防・拡大防止に活用していきます。

杉並区と台湾は、平成23年に中学生の親善野球大会をきっかけに交流がスタートし、東京高円寺阿波おどりの台湾公演、台湾の食や伝統音楽などを紹介する「まると台湾フェア」の開催など、スポーツや文化分野において交流を深めてきました。

これまでの交流を縁に、台湾からの支援が続々と届きました。

5月19日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依然としてマスク不足が続く中、台北駐日経済文化代表処から、使い捨てマスク10,000枚が届きました。いただいたマスクは、主に区内の小中学校等で活用させていただく予定です。

また、本日、東京高円寺阿波おどりの愛好者グループの台湾連・在住台湾人団体の留日台湾同郷会・台湾への旅行業などを手掛ける株式会社東洋グループから医療用防護服等が届きました。いただいた医療用防護服等は、区内の感染症対策に使用させていただく予定です。

○支援物品一覧

寄贈者	寄贈品
台北駐日経済文化代表処（港区）	マスク 10,000枚
東京高円寺阿波おどり台湾連日本総会	防護服100枚、マスクカバー100枚
留日台湾同郷会	防護服50枚
株式会社 東洋グループ（千代田区）	防護服50枚



マスク



医療用防護服

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課：03-3312-2111（内線3781）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）